

登園に関する意見書・同意書

豊川保育園

組 園児氏名

保育園は、乳幼児が集団で長時間、生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで、子ども達が健康に生活できるよう意見書の記入をお願いいたします。

下記の感染症については、「感染力のある時期を逸し」「健康回復状態が集団生活可能な状態であるか」登園前に保護者と共にご確認をお願いいたします。登園時、職員が症状や経過を聞きます。

*但し医師からの登園許可があっても、園の感染症発症状況などにより、登園を控えていただくこともあります

(医療機関 医師記入)

病状名診断名
(いずれかに✓)

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> インフルエンザ A・B・() | <input type="checkbox"/> 水痘(水ぼうそう) |
| <input type="checkbox"/> 風疹 | <input type="checkbox"/> 麻疹 |
| <input type="checkbox"/> 百日咳 | <input type="checkbox"/> 結核 |
| <input type="checkbox"/> マイコプラズマ肺炎 | <input type="checkbox"/> RSウイルス |
| <input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎(おたふく風邪) | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ウィルス性結膜炎(流行性角結膜炎(はやり目)・咽頭結膜熱(プール熱)) | |
| <input type="checkbox"/> ウィルス性胃腸炎(嘔吐下痢症・胃腸風邪 /ノロ ロタ アデノ等含む) | |
| <input type="checkbox"/> 腸管出血性大腸菌感染症(O157・O26・O111等) | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

受診日 年 月 日

症状が出現した日 年 月 日

登園を再開する日 年 月 日

受診医療機関

主治医氏名 サイン又は印

同意書(保護者記入)

医師により登園可能と判断されました。すでに症状も回復し「豊川保育園のしおり」に記載されている「登園のめやす」に支障がない状態になったので、保護者の責任のもと、登園いたします。

年 月 日 保護者同意サイン

<登園再開において医師による意見書が必要な病名一覧>

下記は目安です 経過や体調により大幅に変わることがあります

病名	潜伏期間	最も感染しやすい期間	登園停止期間
麻疹(はしか)	8~12日間	発症1~2日前から発疹出現4日間	解熱後3日間
風疹	14~21日間	発疹出現前7日~後7日	発疹消失するまで
水痘(みずぼうそう) 帯状疱疹	10~20日間	発疹出現2日前~痂皮化(かさぶた)になるまで	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎 (ムンプス・おたふく)	14~24日間	発症2・3日前~耳下腺腫脹後5日間	耳下腺顎下腺舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過かつ全身状態良好になるまで
インフルエンザ	1~5日間	発症前24時間~ 発症後5日間	発症後5日経過しかつ解熱後3日間
流行性角結膜炎 (はやり目・アデノウイルス)	2~7日間	発症後2週間	結膜炎の症状が消失した日まで
咽頭結膜熱 (プール熱・アデノウイルス)	5~7日	2~14日	主な症状が消失してから2日間
急性出血性結膜炎	1~3日間	発症前1日~後5日間	医師の所見による
百日咳	6~15日間	咳のある2週間	咳が収まるまたは治療終了まで
結核	1~2か月	喀痰の塗抹検査が陽性の間	塗抹検査結果が連続して3回陰性になるまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O27等)	3~8日間	便中に菌が排泄されている間	症状がなく治療終了し48時間あけて2回連続で菌陰性になるまで
感染性胃腸炎 (嘔吐・下痢症状)	数時間~	症状がある間	症状が治まってから1日以上経過後。普段の食事ができるまで

***以上のほか、新型コロナウイルス疾患や新型流行性疾患の流行が懸念される時、検査中や治療中でも、医師記入による登園許可証が必要になる場合があります**

***文部科学省「感染症対策」参照**